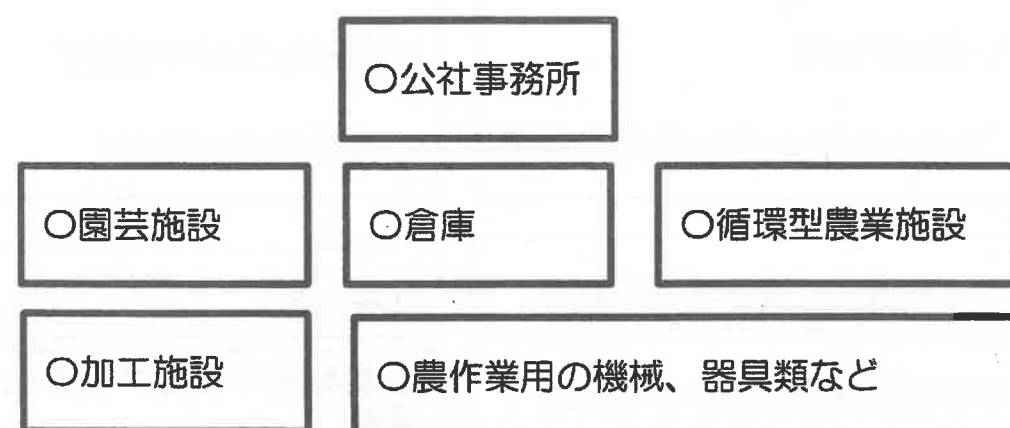


【施設整備計画について】

- ・公社事務所は、JA ふくしま未来の既存建物を取得し設けることを検討しています。
- ・公社が将来的に計画している施設等については、農作業の受委託の状況や年次計画等の中で、一定程度の経営規模が見込まれる段階において、国、県等の補助金を活用しながら、必要となる施設の整備を進めてまいります。

《今後必要と見込まれる施設等》



お問い合わせ先

大玉村役場 産業課 村おこし係 担当：佐藤・遠藤

電話番号 0243-24-8106（直通）

大玉村農業振興公社（仮称）事業の概要

～持続可能な大玉村の農・畜・林業を目指して～

令和4年2月1日に開催を予定しておりました、大玉村農業振興公社（仮称）事業説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止といたしました。

事業説明会では、農業振興公社の設立目的や事業内容などの基本構想について説明する予定でしたが、説明会に代わり事業の概要についてお知らせいたします。

なお、農業振興公社が取り組む事業の詳細につきましては、改めて説明の場を設けたいと考えております。

【農業振興公社設立に向けた取り組み】

農業振興公社設立に向け、現在、大玉村並びに関係団体等を構成員とする『大玉村農業振興公社（仮称）設立準備委員会』を設置し、十分に連携を図りながら組織体制や事業内容の検討を進めています。

【農業・畜産・林業を取りまく背景と課題】

大玉村は、農業を基幹産業として発展し、米を中心に、大豆やそば、野菜、果樹、牛肉、生乳や林産材など幅広く生産されています。安達太良山麓の肥沃な扇状地で水利条件もよく、おいしい米の生産地として内外に知られていますが、兼業農家率が高く、従事者の高齢化や後継者不足も進んでおり、増加している遊休農地や荒廃森林の対策が課題となっています。

【検討経過】

大玉村における農業・畜産・林業の課題解消に向けた政策の一つとして農業振興公社の必要性について調査・検討を進めています。

令和2年7月	大玉村農業振興公社設立検討委員会の設置
令和3年6月	検討結果報告（農業振興公社の必要性を確認）
令和3年11月	大玉村農業振興公社（仮称）設立準備委員会の設置
現時点	農業振興公社の設立、事業計画、組織等について協議・検討中

【事業の目的】

農業振興公社は、農林業者、農林業関係団体及び行政の連携による運営により、農林作業支援体制の構築、農地利用集積、多様な担い手の育成確保及び農業者と消費者との結びつきの強化を図り、もって大玉村農林業の発展と地域社会経済の活性化に寄与することを目的とします。

【名称】

一般社団法人大玉村農業振興公社（仮称）

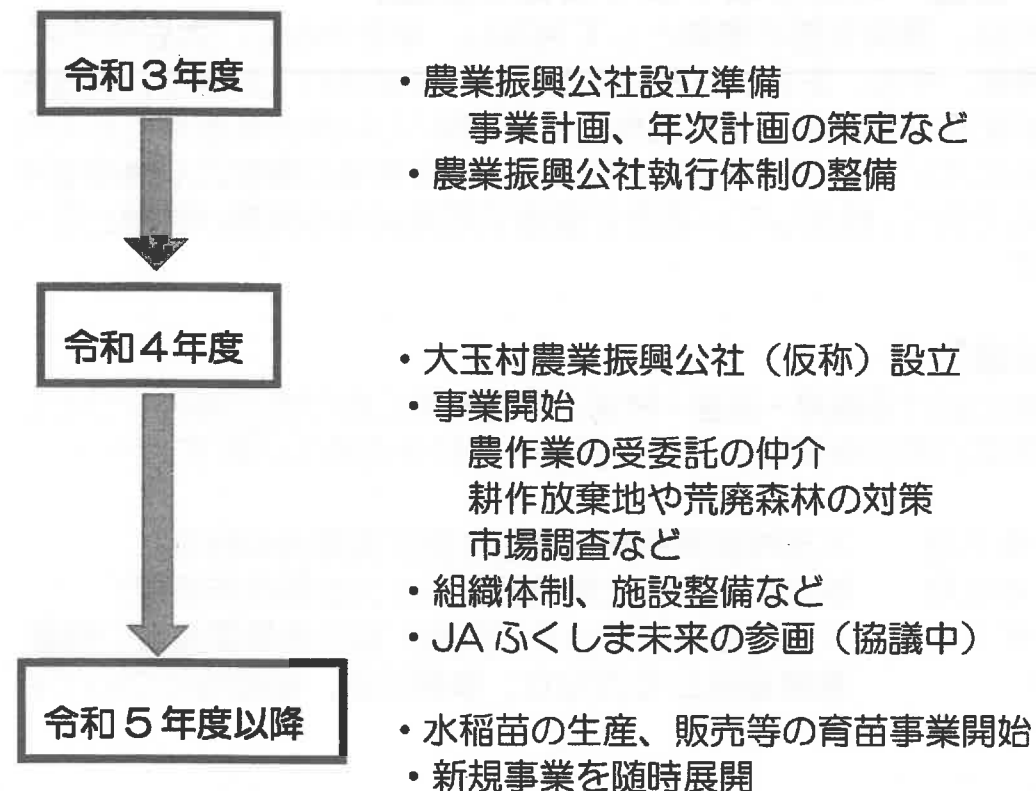
【組織構成】

設立準備委員会構成員を中心として法人を設立し、法人設立後は理事会が運営を行うこととします。

職員体制については、大玉村からの派遣職員等を軸に関係機関との連携による体制構築を予定しています。

【事業開始スケジュール】

事業計画につきましては農業を取りまく状況等に合わせ、適宜見直しています。



【事業内容】

公社設立の目的を達成するために、次の事業を計画しています。

各項目の事業については、事業内容の検討を進め準備の整ったものから順次開始します。

1 営農施策に関する取り組み

- 農作業の受委託の仲介
- 農地の集積
- 耕作放棄地や荒廃森林の対策

2 施設整備に関する取り組み

- 水稻苗等の生産販売
- 園芸施設の事業運営
- 循環型農業の形成

3 人材育成に関する取り組み

- 新規就農者、担い手の育成
- 農業技術の研究及び習得

4 その他

- 農業振興公社の目的に沿った事業

当面の業務内容

- 稲作全般の農作業受委託の仲介
- 農地の集積業務
- 耕作放棄地等の対策 など

今後取り組む業務

- 多角的な経営展開
 - ・農産物の一部生産直販
 - ・6次産業化に関する事業
 - ・耕作放棄地、荒廃森林等の活用
 - ・就農を目指す後継者や就農希望者の育成事業 など

